

第 68 回東邦医学会総会プログラム

平成 26 年 11 月 12 日(水) 午後 5 時～8 時 50 分
平成 26 年 11 月 13 日(木) 午後 5 時～8 時 34 分
平成 26 年 11 月 14 日(金) 午後 5 時～8 時 49 分

12 日・13 日 東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1F)
14 日 東邦大学医学部第 1 講義室

当番教室: 12 日 薬理学講座 杉山 篤教授
13 日 脳神経外科学講座(大森) 周郷延雄教授
14 日 耳鼻咽喉科学講座(大森) 枝松秀雄教授

11 月 12 日(水)

開会の辞 _____ 東邦大学医学会運営委員長 住野泰清教授
当番教室: 薬理学講座

-- 特別講演 (5:00-6:00) <企画担当> 薬理学講座 --

座長: 杉山 篤教授(薬理学)

「糖尿病患者での心疾患薬物治療」 村川裕二教授 (帝京大学溝口病院第四内科)

A. 大森病院CPC Clinico-pathological conference(CPC)

司会: 名取一彦准教授 (血液・腫瘍科) 1 席 (6:00-7:00)

1. 大腸癌術後の経過中に呼吸困難を呈した 1 例

松田 聡 (大森消外), 三上哲夫(病理)

B. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 1

(発表:8 分, 討論: 2 分)

座長: 赤坂喜清教授(先端医科学研究センター) 2 席 (7:00-7:10)

2. 慢性呼吸器疾患における急性増悪と嚥下機能障害との関係(8 分)

○杉野圭史(大森呼内), 藤本慶子, 米山勇哉(口外), 小林正周(大森放射)

C. 平成 25 年度プロジェクト研究報告 1

(発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 赤坂喜清教授(先端医科学研究センター) 3 席 (7:10-7:20)

3. Na⁺チャンネル修飾薬を用いた iPS 由来心筋細胞シートの特徴付け(8 分)

○中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎(薬理)

D. 平成 25 年度医学研究科推進研究報告 1

(発表:15 分, 討論含)

座長: 赤坂喜清教授(先端医科学研究センター) 4 席 (7:20-7:35)

4. ヒト iPS 由来心筋細胞を活用した薬物性心機能毒性の高精度予測システムの構築(15 分)

杉山 篤(薬理)

E. 一般演題 1

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長: 赤羽悟美教授(統合生理学分野) 5~7 席 (7:35-8:02)

5. Amantadine の心臓電気薬理学的作用:ハロセン麻酔犬モデルでの評価(7 分)

○曹 新, 岸江拓也, 小原 浩(大学院医学研究科代謝機能制御系),
中村裕二, 中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎, 杉山 篤(薬理)

6. 心筋イオンチャンネル修飾薬の評価における Microminipig の実験モデル動物としての有用性の検討(7 分)

○岸江拓也, 曹 新, 小原 浩(大学院医学研究科代謝機能制御系),
中村裕二, 中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎, 杉山 篤(薬理)

7. 抗癌剤 oxaliplatin が関与した Kounis 症候群(Type1) の 1 例(7 分)

○藤井崇博, 藤野紀之, 冠木敬之, 山崎亜貴子, 木内俊介, 北原 健,
藤井悠一郎, 坪田貴也, 山崎純一, 池田隆徳(大森循内)

F. 大学院学生研究発表 1

(発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 住野泰清教授(大森消化器内科) 8~10 席 (8:02-8:32)

8. Impact of nurses' working hours on hospital patient safety culture among Japan, the U.S. and Taiwan(8 分)
吳 映暉(社会環境医療系), 指導教授:長谷川友紀教授(医療政策・経営科学)

9. Apomorphine は薬物性 QT 延長症候群を誘発しない:ハロセン麻酔犬モデルおよび慢性房室

ブロック犬モデルでの評価(8 分) 渡辺雄大(代謝機能制御系), 指導教授:杉山 篤教授(薬理学)

10. 進行胆嚢癌における壁浸潤様式と組織学的形質の相関(8分)
鳥羽崇仁(代謝機能制御系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)

G. 研修医発表(大森病院初期研修医) 1 (発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 館田一博教授(微生物・感染症学) 11・12席 (8:32-8:50)

11. 起因菌として *Streptococcus anginosus* group が疑われる急性副鼻腔炎を先行した髄膜炎の1例(7分)
○田原由利子(大森研修医), 吉澤定子(大森病院感染症科)
12. 不明熱の鑑別における薬剤熱(7分)
○大嶋美喜子(大森研修医), 菅澤康幸(総診)

11月13日(木)

当番教室: 脳神経外科学講座(大森)

H. 大学院学生研究発表 2 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 前谷 容教授(大橋消化器内科) 1~3席 (5:00-5:30)

1. 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の拾い上げにおける p53 免疫染色の unique basal pattern に関する検討(8分)
小林俊介(代謝機能制御系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)
2. 十二指腸乳頭部腫瘍(非浸潤症例)の局在と組織形態学的・免疫組織学的特徴との関連(8分)
山本慶郎(代謝機能制御系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)
3. 慢性膵炎の主膵管狭窄に対する内視鏡的金属ステント留置の短期成績(8分)
成木良瑛子(代謝機能制御系), 指導教授:前谷 容教授(大橋消化器内科)

I. 一般演題 2 (発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 原田直幸講師(大森脳神経外科) 4~6席 (5:30-5:57)

4. 脳幹部血管芽腫術後の難治性頭痛に漢方薬が著効した1例(7分) 内野 圭(大森脳外)
5. Intra-osseous meningioma の1例(7分)
○小此木信一, 野本 淳, 寺園 明, 内野 圭, 野手康宏, 安藤俊平, 福島大輔, 榊田博之, 近藤康介,
原田直幸, 根本匡章, 周郷延雄(大森脳外), 赤坂喜清(先端医科学研), 澁谷和俊(大森病院病理)
6. 脊髄脂肪腫による神経因性膀胱のため反復性の腎盂腎炎を来した1例(7分)
○中西雄亮, 青木九里(大森泌尿)

J. 研修医発表(大森病院初期研修医) 2 (発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 中嶋 均教授(総合診療・救急医学) 7~9席 (5:57-6:24)

7. *Aeromonas hydrophila* による末梢静脈カテーテル関連血流感染の1例(7分)
○橋本佳奈(大森研修医), 本田なつ絵, 吉澤定子(大森病院感染症科)
8. 遷延する発熱で来院され粟粒結核と診断された1例(7分)
○三上敦弘(大森研修医), 前田 正(総診)
9. 蜂窩織炎により敗血症を合併した1例(7分)
○清水 良(大森研修医), 渡邊利泰(総診)

K. 平成 25 年度医学研究科推進研究報告 2 (発表:各15分, 討論含)

座長: 村上義孝教授(医療統計学) 10・11席 (6:24-6:54)

10. 地域在住高齢者の感覚器コホート研究:日光個人曝露評価方法の開発と疫学応用を中心に(15分)
西脇祐司(衛生)
11. 受精成立の分子機構の解析(15分) 三輪尚史(細胞生理)

L. 分科会報告 1 (発表:各15分, 討論含)

座長: 根本匡章准教授(大森脳神経外科) 12・13席 (6:54-7:24)

12. 当院における静脈血栓塞栓症の臨床的特徴(15分)
清水一寛(佐倉循内)(佐倉病院内科学講座例会)
13. 眼動脈起始部を閉塞させ治療した内頸動脈眼動脈分岐部動脈瘤の1例(15分)
福島大輔(大森脳外)(東邦 Neuro IVR カンファレンス)

M. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 2 (発表:8分, 討論:2分)

座長: 長尾建樹教授(佐倉脳神経外科) 14席 (7:24-7:34)

14. 脳内ドーパミン作動性ニューロンの欠乏を引き起こす機構解明について(パーキンソン病モデルマウスを用いて)(8分)
○井上由理子(生体構造), 浜之上 誠(細胞生理)

N. 新任教授特別講演 1

座長：長尾建樹教授(佐倉脳神経外科) 15 席 (7:34-7:54)

15. 腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術の実際(20 分)

整形外科学講座(大森) 教授 高橋 寛

-- シンポジウム (7:54-8:34) <企画担当> 脳神経外科学講座(大森) --

「脳動脈瘤の治療」

座長：周郷延雄教授(大森脳神経外科) (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

- 1) Paraclioid aneurysm に対する治療戦略 近藤康介(大森脳外)
- 2) 血腫形成型くも膜下出血の現状 根本匡章(大森脳外)
- 3) 本邦におけるステントを用いた脳動脈瘤塞栓術の現状および米国との比較
○林 盛人, 佐藤健一郎, 横内哲也, 岩渕 聡(大橋脳外), 早川美奈子(Dept. of Radiology Univ of Iowa),
Chaloupka J (Interventional Neuroradiology, Mount Sinai Medical Center)
- 4) 解離性椎骨脳動脈瘤に対する治療戦略
○宮崎親男, 黒木貴夫, 原田雅史, 上田啓太, 長尾建樹(佐倉脳外),
近藤康介, 根本匡章, 周郷延雄(大森脳外)

11 月 14 日(金)

当番教室：耳鼻咽喉科学講座(大森)

O. 一般演題 3

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長：土谷一晃教授(大森整形外科) 1・2 席 (5:00-5:18)

1. 副鼻腔に発生した IgG4 関連疾患の 1 例(7 分)
○井上彰子, 長舩大士, 松浦賢太郎, 和田弘太, 枝松秀雄(大森耳鼻),
根本哲生(大森病院病理)
2. 腰椎椎間板ヘルニアに対する conventional discectomy と microendoscopic discectomy の手術侵襲の比較検討(7 分)
○高松 諒, 飯田泰明, 横山雄一郎, 和田明人, 高橋 寛(大森整形)

P. 新任教授特別講演 2

座長：枝松秀雄教授(大森耳鼻咽喉科) 3 席 (5:18-5:38)

3. リンパ球分化の分子制御機構とその異常による免疫関連疾患発症のメカニズム(20 分)

免疫学講座 教授 近藤元就

Q. 大学院学生研究発表 3

(発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長：三上哲夫教授(病理学) 4・5 席 (5:38-5:58)

4. 末期腎臓病患者における臨床背景の経年的変化と頸動脈硬化の変遷(8 分)
浅川貴介(代謝機能制御系), 指導教授:長谷弘記教授(大橋腎臓)
5. 大腸癌生検組織における DR の標準化について, 施設間および施設内検討(8 分)
岡本陽祐(代謝機能制御系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)

R. 研修医発表(大森病院初期研修医) 3

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長：瓜田純久教授(総合診療・救急医学) 6~9 席 (5:58-6:34)

6. Human Parechovirus type 3 (HPeV-3) 感染症の早期乳児例(7 分)
○森岡治美(大森研修医), 正田八洲穂(大森小児)
7. 内科的コントロールに難渋した感染性心内膜炎の 1 例(7 分)
○三井ゆりか(大森研修医), 林 典行(大橋循内)
8. ワルファリン内服中断中に起きた一過性脳虚血発作(TIA)の 1 例(7 分)
○清水 知(大森研修医), 渡邊利泰(総診)
9. ヒトパルボウイルス B19 感染に伴う急性糸球体腎炎の 1 例(7 分)
○川田幸太(大森研修医), 河越尚幸(総診)

-- 休憩 5 分 (6:34-6:39) --

S. 分科会報告 2

(発表:各 15 分, 討論含)

座長：枝松秀雄教授(大森耳鼻咽喉科) 10・11 席 (6:39-7:09)

10. 網膜増殖性疾患の制圧を目指して “糖尿病網膜症と LR11 の関連性”(15 分)

○橋本りゅう也, 柴 友明, 前野貴俊(佐倉眼科), 武城英明, 姜 美子(佐倉臨床研究開発部)
高橋真生(佐倉循内)(佐倉病院学術集会)

11. 腹腔鏡補助下胃切除術導入と教育(15分)

○渡邊良平, 中村陽一, 長尾さやか, 高林一浩, 永岡康志, 榎本俊行, 浅井浩司,
渡邊 学, 斉田芳久, 草地信也, 長尾二郎(大橋外科)(大橋病院外科集談会)

T. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 3

(発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 廣井直樹教授 (教育開発室) 12・13 席 (7:09-7:29)

12. NAFLD の発症・進展における 7-ketocholesterol(7KC)の役割(8分)

○山口 崇(佐倉糖代内), 高田伸夫(佐倉消内)

13. 食道癌症例における血清抗 RaIA 抗体モニタリングの有用性に関する検討(8分)

○大嶋陽幸, 名波竜規(大森消外)

U. 平成 25 年度プロジェクト研究報告 2

(発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 三輪尚史准教授 (細胞生理学) 14 席 (7:29-7:39)

14. 高次機能を生成する網膜神経回路の解析(8分)

○星 秀夫, 村上邦夫(生体構造)

----- 休憩 5 分 (7:39-7:44) -----

— **シンポジウム** (7:44-8:24) <企画担当> 耳鼻咽喉科学講座(大森) —

「耳鼻科領域の内視鏡医療の発展: 耳科手術と副鼻腔手術」

座長: 枝松秀雄教授 (大森耳鼻咽喉科)

1) 副鼻腔の画像診断と内視鏡所見, 手術法について(20分)

和田弘太(大森耳鼻)

2) 当科における内視鏡下耳科手術(20分)

安田真美子(大森耳鼻)

V. 平成 26 年度東邦医学会賞

選考経過報告(住野選考委員長) (8:24-8:29)

受賞記念講演 15・16席

座長: 木下俊彦教授 (佐倉産科婦人科) 15 席 (8:29-8:39)

15. Uterine natural killer cells severely decrease in number at gestation day 6 in mice

(この発表は平成 25 年度プロジェクト研究報告を兼ねる)

産科婦人科学講座(佐倉) 高島明子

座長: 加藤修司教授 (化学研究室) 16 席 (8:39-8:49)

16. Equilibrium between Fe(IV) porphyrin and Fe(III) porphyrin radical cation:

New insight into the electronic structure of high-valent iron porphyrin complexes

(この発表は平成 25 年度プロジェクト研究報告を兼ねる)

化学研究室 池崎 章

授賞式

閉会の辞

東邦大学医学会会長 高松 研教授

1) 「休憩」は当日の進行状況によっては割愛することがあります。

2) 一般演題, 大学院学生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 医学研究科推進研究報告, 分科会報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内*)の出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail にデータ添付でお送りください (E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。

3) 新任教授特別講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 4,000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。

4) 当番教室企画講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 3,200 字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。

5) 医学会賞受賞記念講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 2,000 字程度の講演要旨を提出してください。

※2)～5)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。3), 4), 5)については, 詳細を受付におたずねください。